

MINEBEA 

ミネベア株式会社

第56期 中間事業報告書

平成13年4月1日～平成13年9月30日





代表取締役社長  
山本 次男

株主の皆様には、ますますご清栄のことと心から  
およろこび申し上げます。

当社第56期決算につきましては、来年6月開催予  
定の定時株主総会においてご報告申し上げる予定で  
ございますが、当中間期（平成13年4月1日～平成  
13年9月30日）の中間決算の結果について、ここに  
謹んでご報告申し上げます。

当中間期のわが国経済は、米国経済の減速とIT関  
連業界低迷の影響により、輸出の落ち込みや在庫調  
整による生産及び設備投資の減少に加え、個人消費  
も低調に推移する等、厳しい状況が続きました。米  
国経済は、減速が続く中で同時多発テロが起これ、  
先行きの不透明感が強まってまいりました。一方、  
欧州、アジアの経済も米国経済の減速とIT関連の需  
要低迷の影響から、生産、輸出が減少するなど、厳  
しい状況で推移いたしました。

当社の主力市場であります情報通信機器関連市場  
は、以上のような世界経済の減速により需要が低迷  
し、前期末から引き続いて厳しい状況のまま推移い  
たしました。

当社はかかる経営環境の中で、前期に決定した不  
採算事業の整理を予定どおり進めるとともに、販売、  
生産活動の一層の効率改善、品質の向上及び高付加  
価値製品の開発と市場投入に努めました。

## 連結の業績

当中間期の連結決算において売上高は136,882百万  
円と前中間期と比べ5,242百万円（ 3.6%）減少いた  
しました。また営業利益は12,496百万円、経常利益は  
8,952百万円とそれぞれ前中間期と比べ4,680百万円  
（ 27.2%）、4,034百万円（ 31.0%）減少いたしまし  
た。

中間純利益につきましては保有株式の急激な下落  
による減損処理として、特別損失713百万円の計上や、  
税効果会計による法人税等調整額に1,162百万円を計  
上したこと等により、中間純利益は4,384百万円と前  
中間期比2,699百万円（ 38.1%）の減少となりました。

## 単体の業績

当中間期の売上高は89,558百万円と前中間期と比  
べ9,908百万円（ 10.0%）減少いたしました。

また営業利益は1,252百万円、経常利益は3,327百万  
円とそれぞれ前中間期と比べ5,764百万円（ 82.1%）、  
2,694百万円（ 44.7%）減少いたしました。

中間利益につきましては株式の急激な下落による  
減損処理として特別損失713百万円の計上、税効果会  
計による法人税等調整額に1,495百万円を計上したこ  
と等により、中間利益は1,600百万円となりました。

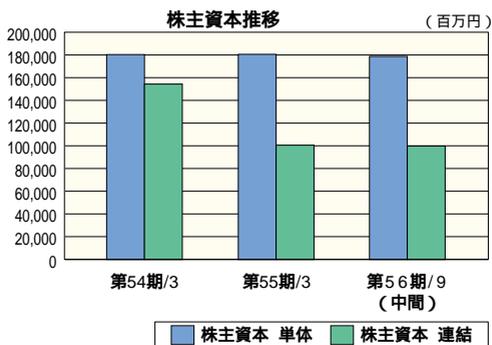
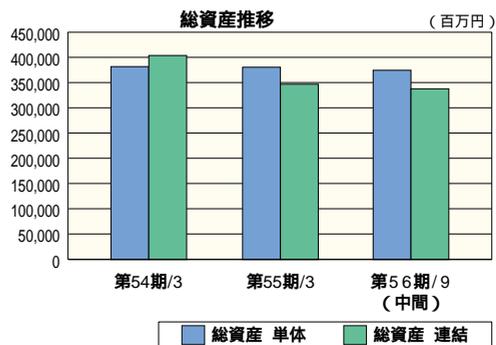
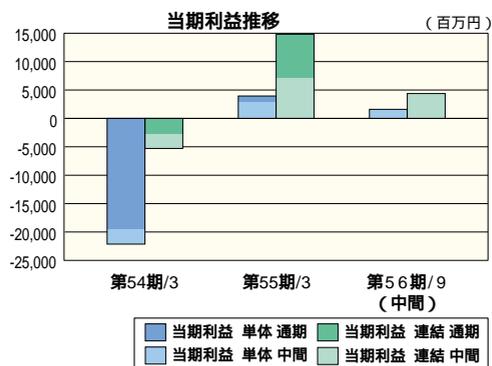
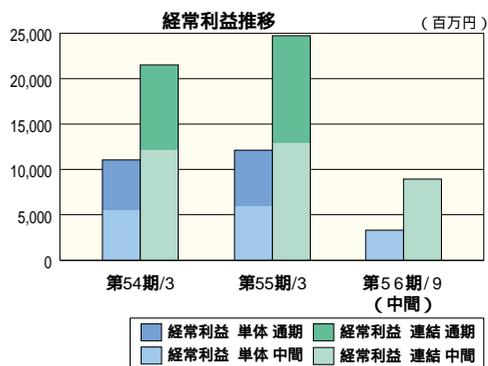
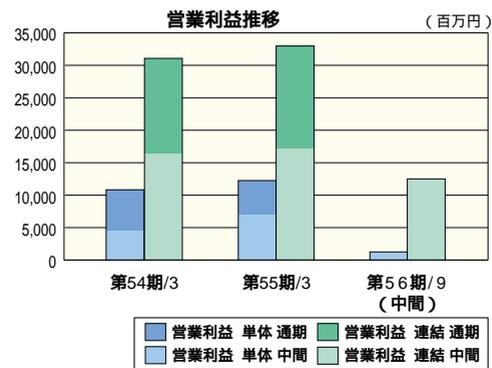
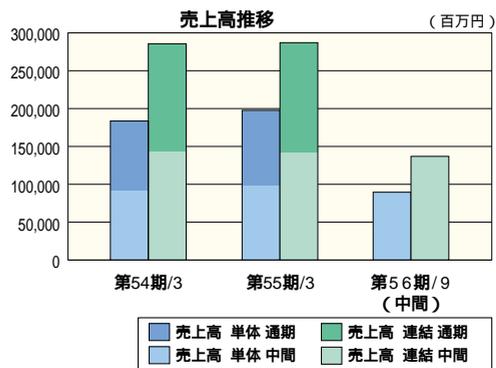
今後の経営環境につきましては、わが国経済は世  
界経済減速の影響から、輸出低迷による生産の減少  
と設備投資の減少に加えて、雇用環境の悪化や個人  
消費の低迷が予想され、景気の悪化傾向が一層強ま  
るものと思われれます。

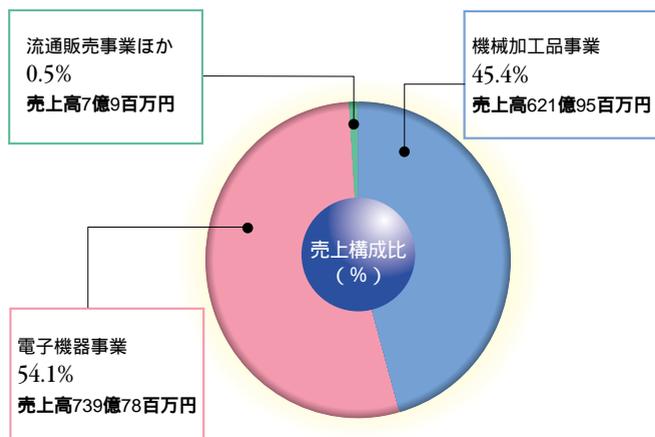
米国における同時多発テロの影響により、世界的  
に景気の先行き不透明感が高まっており、当社を取り  
巻く環境は厳しい状況が続くことが予想されます。

今後とも生産、販売の一層の効率改善を進め業績  
の向上に邁進する所存であります。株主の皆様にお  
かれましては、引き続き格別のご支援、ご鞭撻を賜  
りますようお願い申し上げます。

山本 次男

平成13年12月  
代表取締役社長





### 機械加工品事業

機械加工品は当社の主力製品であるボールベアリングの他に、主として航空機に使用されるロッドエンド&スフェリカル・ベアリング、ハードディスク駆動装置(HDD)に使用されるピボットアッセンブリー等のメカニカルパーツ、自動車及び航空機用の

ネジ、防衛関連製品が含まれております。ボールベアリングは、情報通信機器関連業界向けは低調でありましたが、家電業界、自動車業界向けは堅調であり、航空機業界向けも好調に売上を伸ばし、全体では堅調に推移いたしました。

また、ロッドエンド&スフェリカル・ベアリングは主力市場である航空機業界よりの需要が好調に推移いたしました。この結果、売上高は円安の影響もあり、62,195百万円、営業利益は12,564百万円と前中間期と比べ、売上高は1,242百万円、営業利益は545百万円の増加となりました。

### 電子機器事業

電子機器事業はHDD用スピンドルモーター、ファンモーター、ステッピングモーター等の各種精密小型モーター、キーボード、スピーカー、フロッピーディスク駆動装置(FDD)、スイッチング電源や計測機器が主な製品であります。主要客先であります



ボールベアリング



ロッドエンド&スフェリカル・ベアリング



ピボットアッセンブリー



HDD用  
スピンドルモーター

情報通信機器関連市場からの需要が低迷する中で、HDD用スピンドルモーターは好調に売上を伸ばし、キーボードも堅調に推移いたしました。その他の主要製品の販売は低迷いたしました。この結果、売上高は円安にもかかわらず、73,978百万円、営業損失は74百万円と前中間期と比べ、売上高は1,494百万円の減少、営業利益は4,743百万円の大幅減少となりました。

#### 流通販売事業ほか

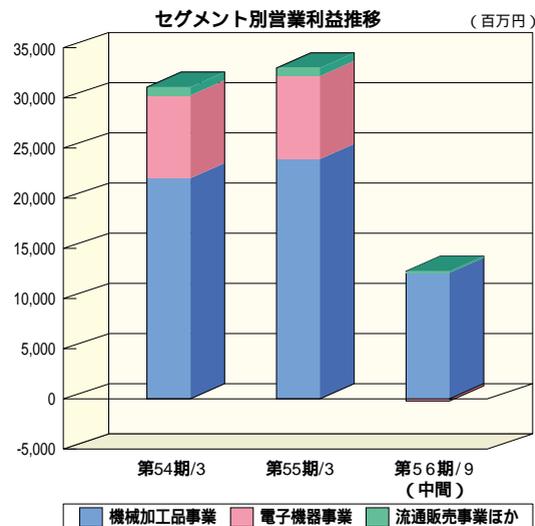
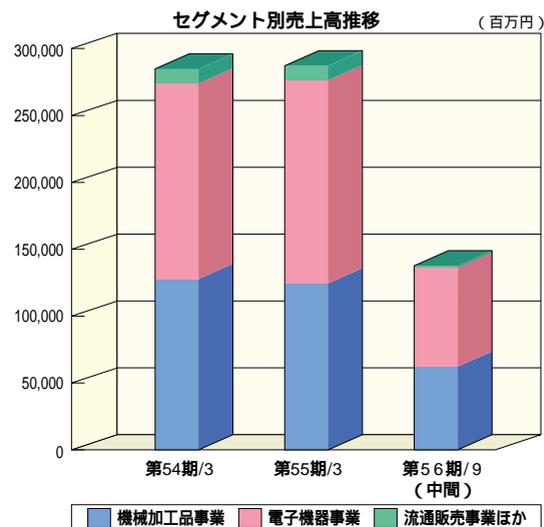
流通販売事業は主として欧州における家具の買付と日本への輸出であります。前会計年度の平成13年2月23日をもって家具輸入販売子会社は売却して家具事業から撤退いたしました。本年末まで欧州における買付業務を継続するものです。この結果、売上高は709百万円、営業利益は6百万円と前中間期と比べ、売上高は4,990百万円、営業利益は483百万円の減少となりました。



ステッピングモーター



キーボード



## 1. 流体軸受搭載型HDD型スピンドルモーターの 生産能力を大幅に増強

現在、当社が最も力を入れている主力製品のひとつであるハードディスクドライブ（HDD）用スピンドルモーターは、半世紀におよぶミニチュアボールベアリングの製造を通して培った「超精密機械加工技術と大量生産技術」をベースに生産・販売において好調に拡大を続けております。

2000年11月に本格量産を開始いたしました流体軸受搭載型HDD用スピンドルモーターは、2001年10月125万台、11月155万台、12月180万台、そして2002年1月以降は月次200万台超の予定で生産拡大を見込んでおります。

一方、ボールベアリング搭載型も受注が好調に推移しており、流体軸受搭載型と合せたHDD用スピンドルモーター全体の生産数量は、2001年12月から2002年1月にかけて、月次500万台を超える見通しです。今後も流体軸受とボールベアリングを内製しているという他社にない競争力を生かし、拡販体制をさらに強化してまいります。

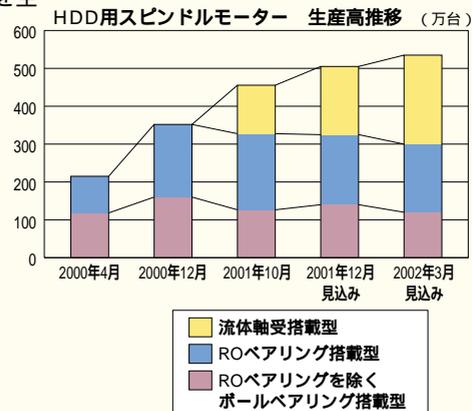


2001年3月にタイのバンバイン工場敷地内に完成した流体軸受及びHDD用スピンドル・モーターの専用工場です。建物面積は24,960平方メートルと、月産600万台の生産が可能なスペースであり、HDD用スピンドル・モーター全体の生産キャパシティは月産1,000万台となりました。今後、市場動向に合わせて機械設備の導入を進めて参ります。



### 「流体軸受」

シャフトとスリーブの隙間にオイルなどの流体を満ち、シャフトが回転することにより流体に発生する圧力を利用してシャフトが浮上する構造のベアリングであり、非接触構造である点からボールベアリングを使用する場合に比べて回転精度や静粛性などの点で優れているといわれております。



(注) ROベアリング：HDD用スピンドルモーター向けにミネベアが開発した外輪を一体化した構造の高精度ベアリングであり、回転精度や信頼性の点で優れています。

## 2. 中国オペレーションが順調に拡大

当社は、1994年4月に、上海市郊外にミネベアグループ初の中国現地法人「上海ミネベア精密機電有限公司」を設立し、ミニチュアボールベアリングとファンモーターの生産を開始いたしました。

その後、世界トップの市場シェアをもつ両製品共に順調に生産が引き上がり、現在ではミネベアグループの総生産額に占める中国の生産比率は11%強となり、中国オペレーションはタイに次ぐ2番目の規模の製造拠点に成長いたしました。

現在、ボールベアリングは上海工場、ファンモーターは西岑工場（共に上海市青浦区西岑鎮所在）で各々構成部品の機械加工から組立に至るまで一貫生産しておりますが、さらに2001年10月に西岑工場敷地内に完成した新工場において、ファンモーターの増産に加え、ひずみゲージやロードセルなどの計測機器の生産を開始いたしました。

当社は、中国でのミネベア製品の市場が将来極めて大きくなることを念頭に置いて中国での生産活動を開始いたしました。現在、予想通り急拡大をしてきております。今後も、中国市場および世界市場の動向を確実に見極めながら、時宜を逸することなく、中国オペレーションの生産品目の増加と生産規模の拡大をはかってまいります。



西岑新工場

### 「輸出貢献企業」および「輸出業務優良企業」 として表彰

上海ミネベアは、暦年での2000年に上海市で第8位の輸出貢献企業として上海市から表彰を受けました。さらに2001年5月には1万社を越える上海の輸出企業の中から、第1回目の輸出業務優良企業15社の1社として認定を受け、今後の輸出業務に関するコストや作業時間が従来に比べて大幅に低減される優遇措置を受けられる事となりました。

### ファンモーターの生産能力を増強

新工場の敷地面積は約18,000平方メートルであり、スペース的には旧工場と合せて月産1,000万台のファンモーターの生産が可能となり、ファンモーターの競争力がさらに増強されました。

ファンモーター



財務諸表(連結)  
Consolidated Financial Statements

中間連結貸借対照表

(平成13年9月30日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	135,282	流動負債	116,432
現金及び預金	15,748	支払手形及び買掛金	25,142
受取手形及び売掛金	48,851	短期借入金	62,684
たな卸資産	51,174	長期借入金 (1年以内返済)	2,443
繰延税金資産	7,482	未払法人税等	4,155
その他	12,506	賞与引当金	4,795
貸倒引当金	481	車輪事業整理損引当金	1,732
固定資産	202,643	その他	15,478
有形固定資産	165,988	固定負債	121,696
建物及び構築物	91,779	社債	35,000
機械装置及び運搬具	188,012	転換社債	40,903
工具器具及び備品	47,293	新株引受権付社債	4,000
土地	16,326	長期借入金	40,172
建設仮勘定	3,480	退職給付引当金	261
減価償却累計額	180,903	その他	1,359
無形固定資産	15,444	負債合計	238,128
連結調整勘定	14,537	少数株主持分	
その他	907	少数株主持分	116
投資その他の資産	21,209	資本の部	
投資有価証券	7,175	資本金	68,258
長期貸付金	132	資本準備金	94,756
繰延税金資産	11,495	連結剰余金	6,676
その他	2,638	その他有価証券評価差額金	1,451
貸倒引当金	231	為替換算調整勘定	68,449
繰延資産	107	自己株式	0
		子会社の所有する親会社株式	3
資産合計	338,032	資本合計	99,787
		負債、少数株主持分及び資本合計	338,032

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。  
2. 資本の部の「自己株式」の残高は 72千円であります。

中間連結損益計算書

(平成13年4月1日から平成13年9月30日まで)

(単位:百万円)

科目	金額	金額
売上高		136,882
売上原価		98,935
売上総利益		37,946
販売費及び一般管理費		25,449
営業利益		12,496
営業外収益		
受取利息	140	
受取配当金	42	
その他	751	934
営業外費用		
支払利息	2,930	
為替差損	837	
持分法による投資損失	32	
その他	678	4,479
経常利益		8,952
特別利益		
債務免除益	714	
固定資産売却益	164	
貸倒引当金戻入額	231	
車輪事業整理損引当金戻入額	413	1,522
特別損失		
たな卸資産廃棄損	842	
固定資産売却損	52	
固定資産除却損	100	
投資有価証券評価損	713	
関係会社事業整理損	411	
退職給付費用	313	2,434
税金等調整前中間純利益		8,040
法人税、住民税及び事業税	2,483	
法人税等調整額	1,162	3,645
少数株主利益		10
中間純利益		4,384

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(平成13年4月1日から平成13年9月30日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前中間純利益	8,040
減価償却	11,616
連結調整勘定償却額	593
持分法による投資損失	32
受取利息及び受取当金	183
支払利息	2,930
債務免除除益	714
有形固定資産売却益	111
有形固定資産売却損	100
投資有価証券売却益	3
関係会社事業整理損	411
投資有価証券評価損	713
売上債権の減少額	6,222
たな卸資産の減少額	539
仕入債務の減少額	3,817
貸倒引当金の減少額	317
賞与引当金の増加額	1,337
車輪事業整理損引当金の減少額	1,030
退職給付引当金の増加額	23
役員賞与の支払額	122
流動資産その他の増加額	1,030
流動負債その他の減少額	2,785
小計	22,447
利息及び配当金の受取額	182
利息の支払額	2,734
法人税等の支払額	2,239
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,656
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	13,191
有形固定資産の売却による収入	452
投資有価証券の取得による支出	1
投資有価証券の売却による収入	20
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	53
貸付による支出	175
貸付金の回収による収入	290
固定資産その他の減少額	61
投資活動によるキャッシュ・フロー	12,596
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の増加額	819
長期借入れによる収入	500
長期借入金の返済による支出	167
自己株式の取得による支出	0
配当金の支払額	2,794
少数株主への配当金の支払額	13
固定負債その他の増加額	615
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,039
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	202
<b>V 現金及び現金同等物の増加額</b>	3,817
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	11,930
<b>VII 現金及び現金同等物の中間期末残高</b>	15,748

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。  
2. 財務活動によるキャッシュ・フロー「自己株式の取得による支出」の金額は513千円です。

## 当社IR活動のご紹介

当社は、株主の皆様にも、当社の経営方針、事業活動及び業績をより正確かつタイムリーにご理解いただくことを目的として、IR室を中心として積極的なIR（投資家向け広報）活動を展開しております。

特に2000年4月から開始いたしましたホームページ（ウェブ）は、IR情報の充実と公平開示に重点を置き構成しており、全ての情報を日本語版と英語版で公開しております。お陰様で、マスメディアや証券会社などからもインターネットIR優良企業として高い評価をいただいておりますが、今後もさらに内容の充実と更新を心がけてまいりますので、ご活用いただければ幸いです。

HPアドレス：<http://www.minebea.co.jp>

## IR情報

中間貸借対照表  
(平成13年9月30日現在)

(単位: 百万円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	140,779	流動負債	82,783
現金及び預金	7,353	支払手形	4,641
受取手形	3,260	買掛金	28,151
売掛金	45,051	短期借入金	37,009
たな卸資産	12,857	長期借入金 (1年以内返済)	1,326
子会社短期貸付金	57,725	未払法人税等	23
繰延税金資産	4,601	賞与引当金	2,284
その他	10,188	車輪事業整理損引当金	1,732
貸倒引当金	256	その他	7,614
固定資産	233,904	固定負債	113,183
有形固定資産	34,661	社債	35,000
無形固定資産	860	転換社債	40,903
投資等	198,382	新株引受権付社債	4,000
投資有価証券	6,929	長期借入金	33,200
子会社株式	149,469	退職給付引当金	80
子会社出資金	25,069	負債合計	195,966
子会社長期貸付金	6,952	資本の部	
長期繰延税金資産	11,333	資本金	68,258
その他	2,027	法定準備金	96,841
貸倒引当金	3,400	資本準備金	94,756
繰延資産	26	利益準備金	2,085
資産合計	374,710	剰余金	15,095
		任意積立金	10,000
		中間未処分利益	5,095
		(うち中間利益)	(1,600)
		その他有価証券評価差額金	1,451
		自己株式	0
		資本合計	178,744
		負債及び資本合計	374,710

- (注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 「自己株式」は、前期まで流動資産の「その他」に含めて表示していましたが、当中間期より資本に対する控除項目として資本の部に「自己株式」として計上(72千円)しております。  
 3. 有形固定資産の減価償却累計額 54,350百万円  
 4. 担保に供している資産 3,070百万円  
 5. 保証債務 47,974百万円  
 6. 1株当たり中間利益 4円01銭

中間損益計算書

(平成13年4月1日から平成13年9月30日まで)

(単位: 百万円)

科目		金額	
経常 損益 の部	営業収益		89,558
	営業費用		88,306
	営業利益		1,252
	営業外収益		3,894
	営業外費用		1,819
	経常利益		3,327
	特別利益		1,812
	特別損失		1,767
	税引前中間利益		3,372
	法人税、住民税及び事業税		277
法人税等調整額		1,495	
中間利益		1,600	
前期繰越利益		3,495	
中間未処分利益		5,095	

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 会社概要

商号	ミネベア株式会社
創立	昭和26年7月16日
資本金	68,258,884,307円
発行済株式総数	399,167,695株
株主数	22,667名
従業員数	2,683名
事業所所在地	
本社・軽井沢工場	
〒389-0293	
長野県北佐久郡御代田町大字御代田4106番地73	
☎0267-32-2200	
東京本部	
〒153-8662	
東京都目黒区下目黒1丁目8番1号 アルコタワー	
☎03-5434-8611	
浜松工場	
〒437-1193	
静岡県磐田郡浅羽町浅名1743番地の1	
☎0538-23-7001	
藤沢工場	
〒251-8531	
神奈川県藤沢市片瀬1丁目1番1号	
☎0466-23-2131	
大森工場	
〒143-8543	
東京都大田区大森西4丁目18番18号	
☎03-3765-1121	
京都工場	
〒614-8585	
京都府八幡市戸津水戸城55番地	
☎075-971-1901	
松井田工場	
〒379-0226	
群馬県碓氷郡松井田町大字行田55番地	
☎0273-93-3100	
佐久工場	
〒384-0613	
長野県南佐久郡佐久町大字高野町字札寺1955	
☎0267-86-5400	

## 役員

代表取締役社長	山本次男
専務取締役	三枝正人
専務取締役	貝沼由久
専務取締役	山岸孝行
専務取締役	小原陸郎
専務取締役	水上龍介
専務取締役	瀬ノ上顕治
専務取締役	竹中東聖
常務取締役	山口喬
常務取締役	丸田富弘
常務取締役	道正光一
取締役	沢村貞夫
取締役	平尾明洋
取締役	大木貞彦
取締役	仲卓也
取締役	清水征夫
取締役	山中雅義
取締役	眞瀬俊二
取締役	加藤木洋治
取締役	長田政光
取締役	藤澤進
取締役	岡宮秋雄
取締役	松岡敦
取締役	チャンチャイ・リー・タヴォン
取締役	竹内留四郎
常勤監査役	森慎一
常勤監査役	天野義紀
監査役	市川光雄
監査役	内田稔朗

# 株主メモ

## 営業年度

4月1日から翌年3月31日まで

## 決算期

毎年3月31日

## 利益配当金受領株主確定日

毎年3月31日

## 定時株主総会

毎年6月

## 1単元の株式の数

1,000株

## 名義書換代理人

大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
住友信託銀行株式会社

## 同事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番4号  
住友信託銀行株式会社 証券代行部

## (郵便物送付先)

〒183-8701

東京都府中市日鋼町1番10

住友信託銀行株式会社 証券代行部

## (電話照会先)

(住所変更等用紙のご請求) ☎ 0120-175-417

(その他のご照会) ☎ 0120-176-417

## (インターネットホームページURL)

[http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/  
service/daiko/index.html](http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html)

## 同取次所

住友信託銀行株式会社  
本店及び全国各支店

## 名義書換手数料

無 料

## 公告掲載新聞

日本経済新聞

## 上場証券取引所

東京・大阪・名古屋の各証券取引所第1部、  
シンガポール証券取引所